

(2) 平成28年 6月20日～21日の豪雨災害（熊本地震関連）による主な被災状況

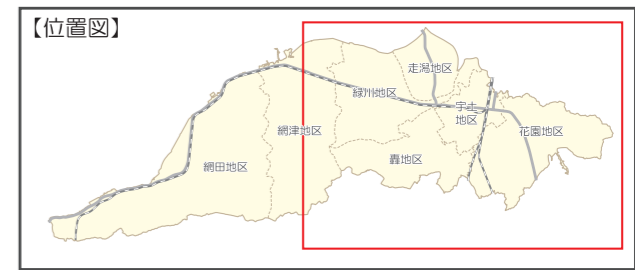
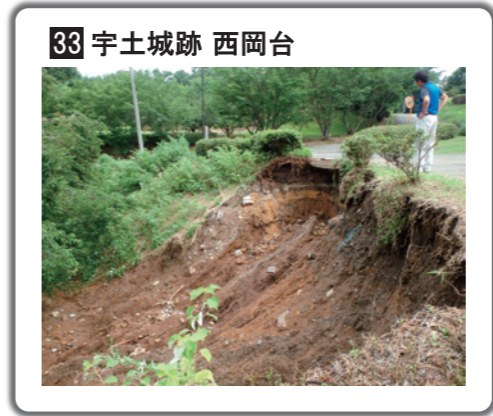
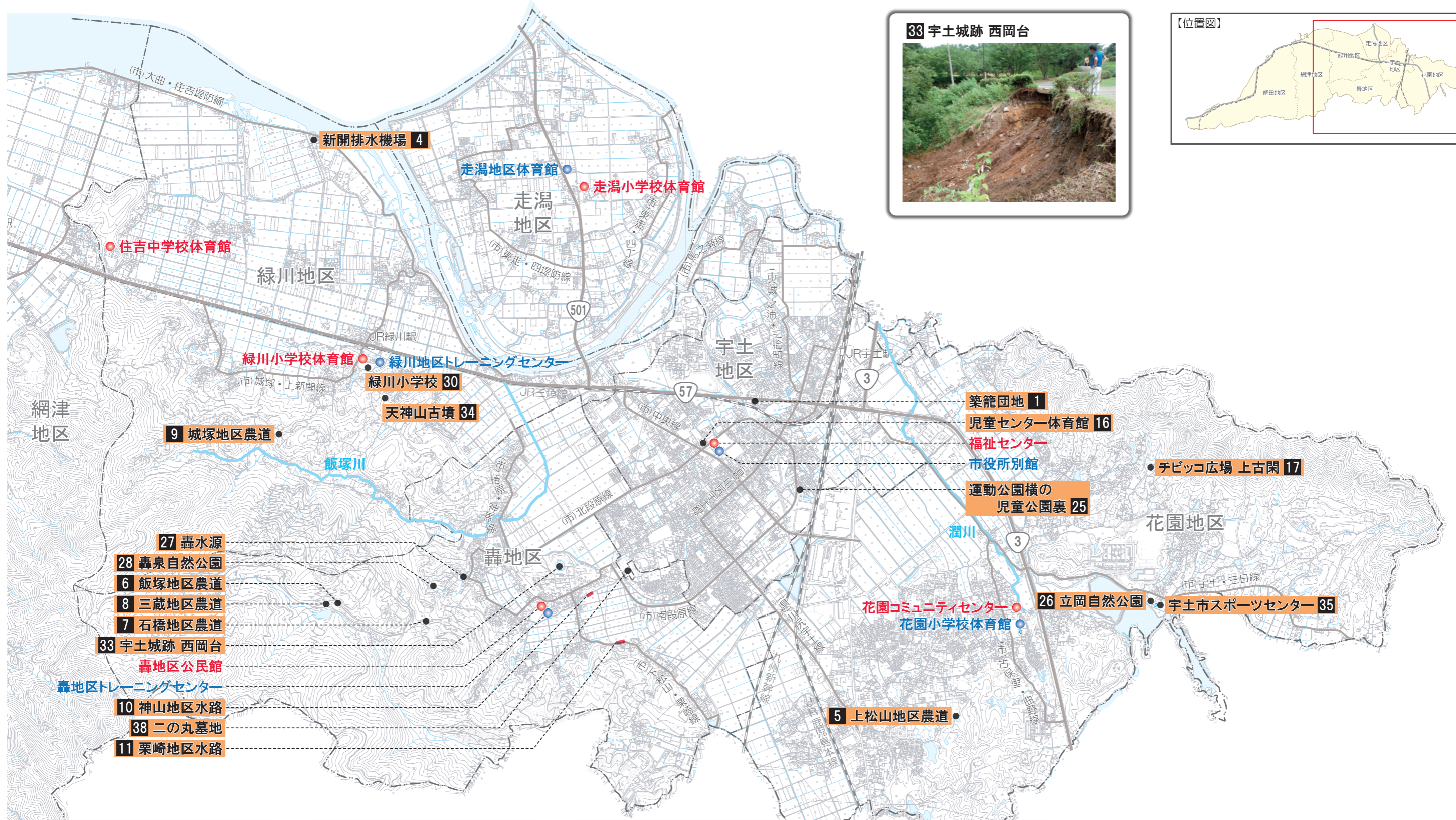
	項目	単位	件数	地区	内容	被災状況位置図 NO. ※1	
人的被害	死者	人	2	-		-	
	負傷者	重傷者	人	0	-		-
		軽傷者	人	1	-		-
住家被害	総数	棟	271	-	平成30年3月末現在	-	
	うち全壊	棟	3	-	〃	-	
	うち大規模半壊・半壊	棟	68	-	〃	-	
	床上浸水	棟	101	-	〃	-	
	床下浸水	棟	99	-	〃	-	
	市営住宅	箇所	3	宇土地区	・築籠団地(床下浸水)	1	
網田地区				・西原団地(1号棟床下浸水, 2号棟床上浸水, 集会所床上浸水, 駐車場・団地公園の土砂堆積)	2		
				・戸口団地(床下浸水)	3		
公共施設等	道路・橋梁	箇所	22 ※2	-	・土砂流入, アスファルト剥離等	-	
	河川・水路	箇所	35 ※2	-	・土砂堆積, 氾濫, 水路破損等	-	
	がけ崩れ	箇所	9 ※2	-		-	
	農業用施設						
	排水機場	箇所	1	緑川地区	・新開排水機場(水位計が落雷により故障)	4	
	農道	路線	28	花園地区	・上松山地区農道(法面崩壊)	ほか	5
				轟地区	・飯塚地区農道(ミカン園に土砂崩土・堆積撤去)		6
					・石橋地区農道(ミカン園に土砂崩土・堆積撤去)		7
					・三蔵地区農道(ミカン園に土砂崩土・堆積撤去)	ほか	8
	緑川地区	・城塚地区農道(ミカン園に土砂崩土・堆積撤去)	ほか	9			
	水路	箇所	32	轟地区	・神山地区水路(土砂堆積)		10
					・栗崎地区水路(土砂堆積)	ほか	11
	網田地区	・引の花水路(土羽崩壊)	ほか	12			
ため池	箇所	4	網津地区	・七曲ため池(堤体の一部損壊)	ほか	13	
公共施設							
庁舎等	棟	2	網津地区	・旧網津支所(床上浸水, 土砂流入)		14	
				・網津支所仮庁舎		15	
福祉関連施設	箇所	5	宇土地区	・児童センター体育館(浸水被害)		16	
			花園地区	・チビッコ広場 上古関(土砂流入)		17	
			網田地区	・西部老人福祉センター(床上浸水)		18	
				・チビッコ広場 戸口(土砂流入)		19	
				・チビッコ広場 宮の前(土砂流入)		20	
産業振興関連施設	箇所	4	網田地区	・赤瀬漁港(旧)県所管(転石により護岸損傷)		21	
				・赤瀬新港 (土砂で漁港の集水桝がつまり排水不能。道路に土砂流出)		22	
				・長浜漁港(土砂流入・堆積)		23	
				・網田漁港(土砂流入・堆積)		24	

※1 (別紙)被災状況位置図参照  
 ※2 災害復旧事業箇所数

	項目	単位	件数	地区	内容	被災状況位置図
						NO.
						※1
公共施設等	公園	箇所	5	宇土地区	・運動公園横の児童公園裏(樹木倒壊)	25
				花園地区	・立岡自然公園(遊歩道路肩崩壊, 陥没)	26
				轟地区	・轟水源(土砂堆積)	27
					・轟泉自然公園(土砂崩れ)	28
				網津地区	・住吉自然公園(落石)	29
	学校関連施設	箇所	3	緑川地区	・緑川小学校(運動場内に土砂が流れ込む。フェンスの傾き)	30
				網津地区	・網津小学校(プール浸水, 運動場・校内通路に土砂堆積)	31
				網田地区	・網田中学校(登校坂の一部がけ崩れ)	32
	文化関連施設	箇所	2	宇土地区	・宇土城跡西岡台(土砂崩れ)	33
				緑川地区	・天神山古墳(土砂崩れ)	34
	スポーツ関連施設	箇所	3	宇土地区	・宇土市スポーツセンター(テニスコート浸水)	35
				網津地区	・網津地区多目的研修会施設(体育館周辺土砂堆積)	36
					・網津地区グラウンド(土砂堆積)	37
	上水道	件	20	-	・配管の破損	-
	下水道	件	3	-	・配管の破損	-
	その他公共施設	箇所	1	轟地区	・二の丸墓地(斜面土砂崩れ)	38

※1 (別紙)被災状況位置図参照





- 9 城塚地区農道
- 27 轟水源
- 28 轟泉自然公園
- 6 飯塚地区農道
- 8 三蔵地区農道
- 7 石橋地区農道
- 33 宇土城跡 西岡台
- 轟地区公民館
- 轟地区トレーニングセンター
- 10 神山地区水路
- 38 二の丸墓地
- 11 栗崎地区水路

- 1 築籠団地
- 16 児童センター体育館
- 福祉センター
- 市役所別館
- 運動公園横の児童公園裏 25
- 17 チビッコ広場 上古閑
- 26 立岡自然公園
- 35 宇土市スポーツセンター



凡例

【被害状況】

1 : 施設関連の被災

【避難場所(風水害)】

● : 第1次避難場所

● : 第2次避難場所



14 旧網津支所



15 網津支所仮庁舎



護岸崩壊(網津川)



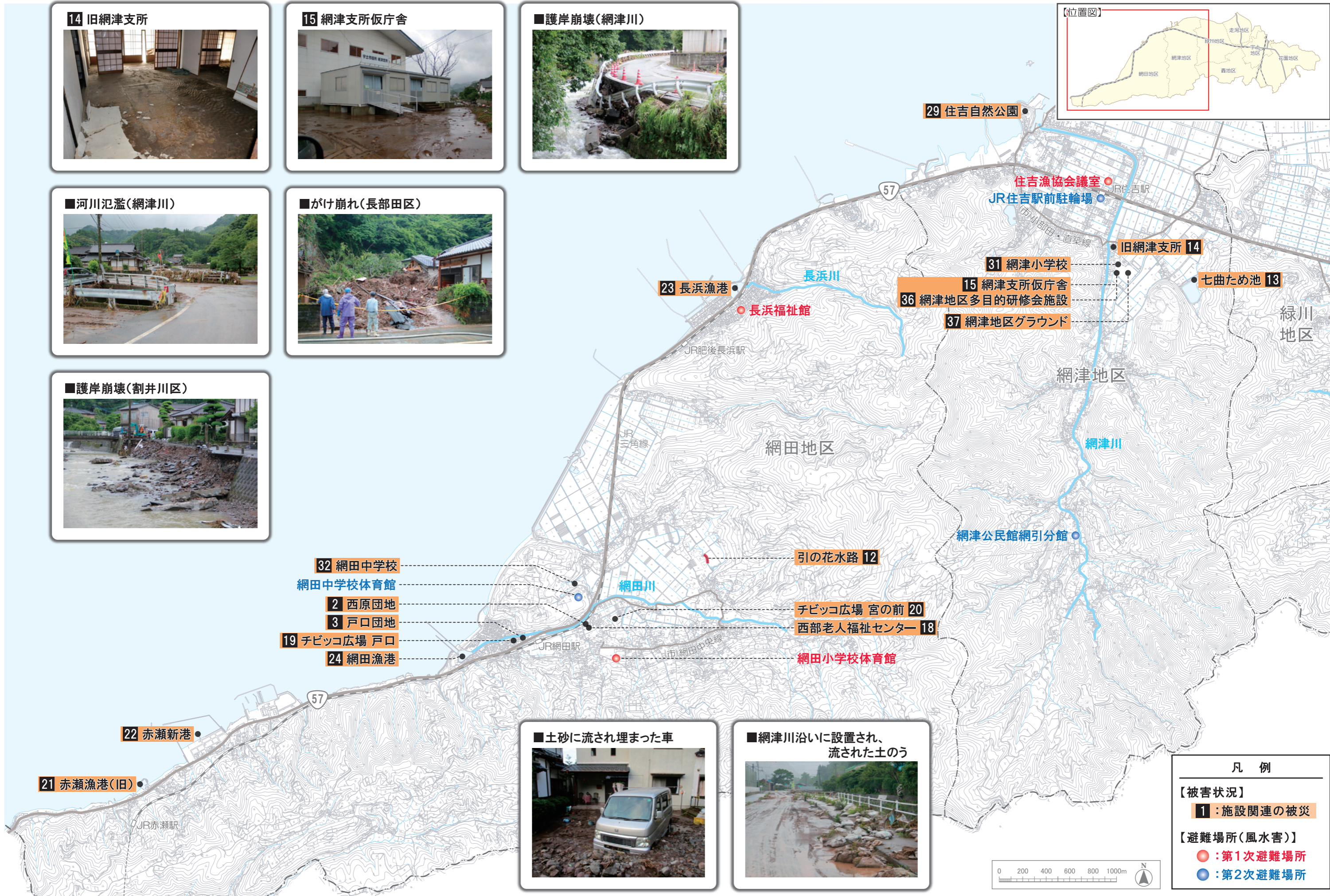
河川氾濫(網津川)



がけ崩れ(長部田区)



護岸崩壊(割井川区)



29 住吉自然公園

住吉漁協議室

JR住吉駅前駐輪場

JR住吉駅

旧網津支所 14

七曲ため池 13

31 網津小学校

15 網津支所仮庁舎

36 網津地区多目的研修会施設

37 網津地区グラウンド

23 長浜漁港

長浜福祉館

JR肥後長浜駅

網田地区

網津地区

網津川

網津公民館網引分館

32 網田中学校

網田中学校体育館

2 西原団地

3 戸口団地

19 テビッコ広場 戸口

24 網田漁港

網田川

JR網田駅

引の花水路 12

テビッコ広場 宮の前 20

西部老人福祉センター 18

網田小学校体育館

22 赤瀬新港

21 赤瀬漁港(旧)

JR赤瀬駅

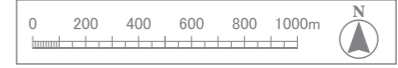
土砂に流され埋まった車



網津川沿いに設置され、流された土のう



凡例	
【被害状況】	1 : 施設関連の被災
【避難場所(風水害)】	● : 第1次避難場所
	● : 第2次避難場所





## 参考2. 主な聴取意見や住民アンケート結果

	「復興計画」策定時における座談会の意見 (復興まちづくりに関係すると思われる主な意見抜粋)	熊本大学による住民アンケート結果 (復興まちづくりに関係すると思われる主なアンケート結果抜粋)	被災状況（聴取意見等による震災時の状況）								
避難所	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定避難所の体育館ではなく公民館に避難する人もいる。水・食糧等の備蓄ができないか。</li> <li>避難所のトイレについて、高齢者にも配慮し、屋内に設置してもらいたい。</li> <li>避難所としても利用が見込まれるので、公民館の耐震診断や耐震補強について補助をお願いしたい。</li> <li>指定避難所の小学校や地区体育館は高齢者にとって避難しづらい。</li> <li>今回、地域の公民館を避難所として活用したが知らない人もいた。地域の公民館の避難所機能を持たせること、活用の周知を行ってほしい。</li> <li>避難してきたときに、轟地区公民館は耐震化がなされていないと聞いた。地震・災害に耐えうる公民館にしてほしい。</li> <li>地区の公民館について、柱の補強等を行い、避難所や日頃からの集いの場として活用できないか検討してほしい。</li> <li>今回は電気が通じていたので何とか対応できたが、停電した場合は食料の確保が難しいので、地区の公民館にも水、食料、毛布等を備蓄しておいてほしい。</li> </ul>	<p>I. 各行政区長アンケート 《83回答/158配布》</p> <p>問6 公立の小中学校等を「避難所」としてしていたが、今回の震災を踏まえて、新たに考えるべきと思う施設は？          &lt;集会所（地域公民館など）41.3% 役所等の行政施設18.8% 民間の大規模施設4.5% その他35.4%&gt;</p> <p>問12 行政が指定する避難所と別に、地域での避難所と定めている場所はありますか？          &lt;公園、学校、お寺、集会所、公民館、区コミュニティセンター、個人宅、個人の駐車場&gt;</p> <p>問15 行政区に公民館等の施設（自治公民館、学習センター等）はありますか？          &lt;ある60区（74.1%） ない21区(25.9%) 不適・無回答1区&gt;</p> <p>問16 行政区の公民館等では、耐震診断を行っていますか？          &lt;行っている4区(7.0%) 行っていない53区(93%) 不適・無回答25区&gt;</p> <p>問17 今回の熊本地震で行政区の公民館等を自主的な避難所として活用しましたか？          &lt;活用した24区(7.0%) 活用していない38区(93.0%) 不適・無回答20区&gt;</p> <p>問18 避難所として活用した場合、最大何人くらい避難をさせていましたか？          &lt;10人未満8区 10人～20人未満6区 20人:4区 30人:3区 50人:1区 120人:1区 140人:1区&gt;</p> <p>問21 今後とも行政区の公民館等を自主的な避難所として活用されますか？          &lt;活用する23区(85.2%) 活用しない4区(14.8%) 不適・無回答55区&gt;</p>	<p>○避難所・・・4月14日前震後、16箇所開設。9月末をもって受け入れ終了。</p> <p>○避難者数・・・最大時6,455人（4月16日20時） 指定避難所15箇所          上記以外（推定） 自主避難所2,000人～4,000人          車内待避10,000人以上</p> <p>○トイレが不足→仮設トイレを設置。          ○トイレの環境が良くない避難所もあった。          ○プライバシーの問題→パーテーションを設置。          ○生活環境の問題→畳、空調機、洗濯機、冷蔵庫の設置。          ○食事→当初ボランティアの炊き出し。支援物資の提供。          5月15日から弁当配食の開始。</p>								
避難路・緊急避難場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間でも避難しやすいように、避難所まで誘導するような街路灯を設置してはどうか。</li> <li>震災の避難時に道路が大渋滞していた。地域ごとに津波からの避難場所を決めておく必要があるのではないか。</li> <li>避難道を活用するため、積極的に周知を行ってほしい。</li> <li>避難道の新規整備や避難道を照らす照明の設置等に補助をしてほしい。</li> <li>網田地区については、道路分断等による孤立化と津波への対策を考えてほしい。</li> <li>津波注意報の影響で大渋滞が起きた。また、誤った情報により混乱も起きた。津波情報について迅速・正確に伝えるようにしてほしい。</li> <li>津波時の避難経路・避難場所について適切に設定してもらいたい。</li> <li>夜間でも避難しやすいように、避難所まで誘導するような街路灯を設置してはどうか。（矢印、他と色を変える等）</li> <li>建物⇒駐車場⇒運動場という風に避難場所を何度も移動させられた。震災等の屋内への避難ができない場合も想定して、屋外の避難所も設定しておく必要がある。</li> </ul>		<p>○津波注意報が発表されたため、車で避難される方で市内各所で渋滞が発生し、円滑な避難とはならなかった。</p> <p>○余震がひどく建物にとどまれないため、車で広い場所に避難される方が多く、市内の学校、地区グラウンドの照明をすべて点灯した。</p> <p>○余震がひどく建物内にとどまれないため、多くの方が車中泊により避難生活を行っていた。</p>								
道路・河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の避難の際、国道の渋滞が酷く、なかなか避難所まで辿り着かなかった。まずは避難経路・場所の確保を考えてほしい。</li> <li>豪雨災害においては、水路が決壊し、農地に大きな被害が出た。今後は2次災害防止も進めてもらいたい。</li> <li>中央線陸橋が通行止めになり、道路の渋滞が酷かった。う回路整備の検討が必要ではないか（鹿兒島本線を越える道の整備）。</li> </ul>	<p>II. 住民アンケート 《無作為抽出 255回答/500配布》</p> <p>問8 地震（前震）以降、避難しましたか？</p> <table border="0"> <tr> <td>・避難した187件75.7%：3日間未満</td> <td>66件 26.7%</td> </tr> <tr> <td>3日間～1週間未満</td> <td>56件 22.7%</td> </tr> <tr> <td>1週間～1ヵ月未満</td> <td>59件 23.9%</td> </tr> <tr> <td>1か月以上</td> <td>6件 2.4%</td> </tr> </table> <p>・避難しなかった、できなかった 60件 24.3%</p> <p>・未回答 8件</p> <p>問9 （避難した方にお尋ねします。）          避難した理由は何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ余震が続くと思ったから 161件 86.6%</li> <li>・停電や断水など、自宅で生活するのが不安な状況 44件 23.7%</li> <li>・自宅建物が壊れ、中で生活することができなかった 33件 17.7%</li> <li>・地域の人に避難するよう呼びかけられたから 17件 9.1%</li> <li>・その他30件</li> <li>・未回答69件</li> </ul> <p>問11 （避難した方にお尋ねします。）          避難した場所はどこですか？（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車の中（自宅の駐車場や周辺道路）93件 62.0%</li> <li>・車の中（避難所の駐車場）61件 22.3%</li> <li>・市が指定した避難所 31件 11.3%</li> <li>・親戚・知人宅 24件 8.6%</li> <li>・車の中（店舗や遊技場等の駐車場） 17件 6.2%</li> <li>・市が指定した避難所以外の避難所 16件 5.8%</li> <li>・その他32件</li> </ul> <p>問13 （車中泊をされた方にお尋ねします。）          車の中に避難した理由は何ですか？（複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余震が続く、車が一番安全と思ったため 146件 45.3%</li> <li>・プライバシーの問題により避難所より車中避難の方がよいと思ったから 40件 12.4%</li> <li>・ペットがいたから 28件 8.7%</li> <li>・小さい子どもや体が不自由な家族がいたから 20件 6.2%</li> <li>・その他35件</li> </ul> <p>問14 （車中泊をされた方へお尋ねします。）          なぜ、その駐車場に避難されましたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレや水道が使えたから 92件 60.1%</li> <li>・周囲に避難者がいたから 51件 33.3%</li> <li>・自宅や職場、子どもの学校等に近いため 50件 32.7%</li> <li>・その他42件</li> </ul>	・避難した187件75.7%：3日間未満	66件 26.7%	3日間～1週間未満	56件 22.7%	1週間～1ヵ月未満	59件 23.9%	1か月以上	6件 2.4%	<p>○道路・・・市内各地で道路の沈下、舗装陥没、橋脚破損、路面破損等がみられた。（通行止め市道）          1中央線（田中会館～宇土シティモールまでの陸橋） 2綾織・柳町線（宇土シティモール西側の線路沿いの側道）          3住吉灯台線（住吉自然公園周りの市道）          4上古閑3号線（上古閑下堤） 5宮庄1号線（大太鼓収蔵館先）          6浦田1号線（市役所裏の市道） 7宮の後・日焼線（田平公民館北側）          8宇土駅自由通路線（エレベーター使用中止）</p> <p>○河川・・・船場川、大坪川、飯塚川等で護岸崩壊、築堤破損等の被害。</p> <p>○6月20日から21日未明にかけて発生した豪雨災害により、市内各地で土砂災害が発生。土砂によって河川の流れがせき止められ、河川の氾濫が多数発生した。</p> <p>○また、豪雨災害により山間地の道路ががけ崩れにより寸断し、集落（三蔵・扇谷）が孤立化した。</p>
・避難した187件75.7%：3日間未満	66件 26.7%										
3日間～1週間未満	56件 22.7%										
1週間～1ヵ月未満	59件 23.9%										
1か月以上	6件 2.4%										
公共施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>新庁舎建設の位置は現在地がよい。</li> <li>仮設庁舎は以前の庁舎より利用しやすいため、新庁舎建設も利用しやすいさを考慮してほしい。</li> <li>緑川地区に、津波のときに避難できるような防災の拠点を整備してほしい。</li> <li>網津地域の各地区に砂防ダムを整備すれば、網津川の水位を抑えられるのではないかと思う。併せて、網津川下流にポンプアップの設備を作ることも検討してほしい。</li> <li>建設予定の網津防災センターについて、屋上を避難場所に利用できるようにしてほしい。</li> <li>網津小学校について、屋上を避難場所として利用できるように改修してほしい。</li> <li>網津川のサイレンに鳴らし方について、今回は遅かったように思う。目視確認でなく危険水位を超えたら自動的に鳴るようにしてほしい。</li> <li>防災行政無線が聞き取りづらいので、戸別受信機の設置等も支援してほしい。</li> </ul>		<p>○特に大きな被害を受けた公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所本庁舎：4階5階部分が崩れ、倒壊の危険あり。 →建替え</li> <li>・網津支所・網津公民館：屋根の破損、柱の傾斜 →建替え</li> <li>・老人福祉センター：屋根、外壁、窓の破損等 →建替え</li> <li>・中央公民館：外壁が大きく剝離する危険あり。 →建替え</li> <li>・市民会館：大ホール天井部の損傷 →改修</li> <li>・文化財関連：船場橋の欄干落下、井戸覆屋の破損 →改修</li> <li>・宇土市武道館：天井崩落、ガラス割れ等 →改修</li> <li>・市営入地団地：1棟1階ピロティ柱破損、集会所建具・壁破損 →改修</li> <li>・文化財関連：船場橋の欄干落下、井戸覆屋の破損 →改修</li> </ul> <p>○4/16本震後、余震がひどく建物内に留まれないため、市役所駐車場にテントを張って本部機能に移す。本庁舎立ち入り禁止のため、書類・O A機器は持ち出せず、電話も1回線のみ。防災行政無線操作車も使用できず、消防署からの遠隔操作により放送。</p> <p>○4/19から市役所機能及び物資集積拠点を市民体育館へ移転。</p> <p>○8/8から現仮設庁舎へ移転。</p>								
支援物資の集積・配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援物資の配分方法について、一部の人が得をすることがないように、公平で効果的な配分方法を考えてもらいたい。</li> <li>高齢者などは、避難所に寝具や食料を持っていくことができないので配慮が必要。</li> </ul>		<p>○震災前の備蓄品（保存水・保存食8,000食分）→1日で枯渇。発災から3日間、避難所への配給物資が大幅に不足。</p> <p>○支援物資          民間からの物資は4月16日午後から届き始め、4月18日以降、大量の物資が届く。          →ボランティアによる仕分け・配給作業が本格化。</p>								
ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>上水道が被害を受けて断水したが、井戸水は利用できた。今後は、上水道と井戸水の併用を進めてはどうか。</li> </ul>		<p>○本震直後、市内の約9割のエリアで断水（上水道区域は全域で断水）          復旧工事とあわせて、自衛隊と水道事業者による給水活動を行った。          →4月23日には全域断水なしの状態に回復。</p> <p>○停電も本震直後、市内の一部で発生したが、間もなく回復。大きな被害には至らなかった。</p>								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のつながりが持てるまちづくりが必要。</li> <li>地域住民のネットワークづくり（防災対策組織の立ち上げ等）が出来れば臨機応変に対応できると思う。</li> <li>行政に頼らないまちづくりが必要。</li> <li>区長会でも取りあげるが、年1回は地区ごとの避難訓練を行ってほしいと思う。</li> <li>自主防災組織について、細かく決めごとを作りすぎても機能しない。流動的な運営が可能なように決めごとを見直す必要があると感じた。</li> <li>防災公開訓練等が行われるときは、市民に幅広く知れ渡るように周知してもらいたい。</li> <li>地震への備えについて個人でもしておく自助の考えが大切。</li> <li>地区ごとの1災害マニュアルや2災害時避難マップを作成すべきではないかと思う。</li> </ul>		<p>○人的被害（H30年3月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による死者10名（災害関連死） 重症者24名</li> <li>・6/20～21日豪雨災害による死者2名</li> </ul> <p>○住家被害（H30年3月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震による被害 6,207棟（全壊116棟 大規模半壊・半壊1,750棟 一部損壊4,341棟）</li> <li>・6/20～21日豪雨災害による住家被害 271棟（全壊3棟 大規模半壊・半壊68棟 床上浸水101棟 床下浸水99棟）</li> </ul>								